

本組合が創立以來孜孜としてその陣營の強化に全精力を傾倒して来た結果は漸次に國際的に優秀なる地歩を確立せられるに至つたが、此事は數年來國際運輸労働組合聯盟より加盟を勧告せられつゝ、來つた事が最も有力に之を裏書する處であつた。

然るに第十三回國際労働總會に濱田組長が出席せるを機として十月二十六日同聯盟總理事エド、フィンマン氏と、佛國トアリーに於る會見となり大要左の如き覺察を交換するに至つた。(上段質問は濱田組長下段回答はフィンマン氏)

一、共產主義に對する態度——國內的にも國際的にも眞の労働組合運動の發達に有害なりとの意見を有し直接間接國際共產主義者又は國際赤化労働組合とは何等の關係を有せず

二、加盟組合の自主權——聯盟規定及總會の決議による義務をのぞきては完全なる自主權を保持す

三、加盟後に於て聯盟役員たり得るや——

評議員たることの承認を得る確信を有す

四、聯盟の會合を國際労働會議の直前又は直後に開催するを得るや——

總會提出書類作成の關係上是は困難であるが、毎年大陸又は半大陸的地方に於て國際總會を召集し、その翌年世界的總會を開催するの計畫が實現すれば總會出席の可能性は各國に均沾することを得る。

五、加盟せんとする場合に來るべき不常なる抑壓對策——

聯盟は可能なる凡ゆる精神的及物質的援助を與へることに何等躊躇せず

六、加盟費は前年度組合費納入實數によるを得るや——

得ると見す

かくて濱田組合及聯盟は、組合は評議員會を開催し眞實審議の結果加盟を決議し直ちにその手続きを完了した。

アジア労働會議の結成は本組合の最も熱望せる處であつて、組合は四年七月第十三回國際労働會議へ顧問として出席せる米陸國際部長を先發せしめ、九月十一、十二の兩日孟買に於て全印度労働組合會議副主事R. R. パツクレイ氏との間に、五月の交開催すべき第一回大會準備に關して慎重なる協議を行はしめ、規約及議事規則等の草案を決定した。而して其後着々としてその準備を進めつゝあつたが、全印度労働組合會議の分裂を見るに至つたため、アジア労働會議の成立が危殆に瀕するに至つたのは甚だ遺憾に耐へない。

第十四回國際労働總會は本年六月ゼネバで開催され、左の如き議題を審議する筈であるが、その代表顧問の選出については労働立法促進委員會に於て協議の結果、代表鈴木文治(總同盟會長)、顧問加藤勝藏(横廠工友會長)、濱橋文作(官業労働總同盟中央委員)三氏と決定組合は一月末届出を了した

議 題 一、強制労働

二、給料被傭者の就業時間

三、炭坑労働

英國海員組合印度海員組合、セイロン労働組合、英國労働黨、第二インターナショナル其他の海外労働及政治團體及國際労働局等と雜誌文書の交換及びその連絡乃至友誼關係は益々深まりつゝある。